

講義コード	25468001	
担当者	河野正道教授	
研究題目	理論経済学、応用マイクロ経済学	
	<p>経済学の基本的な考え方を理解することが第一の目的である。したがって、テーマはマイクロ理論、マクロ理論をカバーする理論経済学とした。まず、マイクロ経済学の基礎的な学習から入る。テキストは、クルーグマン著、『マイクロ経済学』東洋経済新報社から始める。</p> <p>マイクロ・マクロの基礎的な知識がなければ、将来、どのような経済問題にも取り組むことは不可能であるし、また、公務員試験などの外部の試験に対処できない。講義に出るだけでは経済学の十分な知識を身につけるのは不可能であり、自分で苦労して本を読む必要がある。そのための手助けの場がゼミである。また、議論をする訓練の場でもある。全員が議論に参加することが求められる。</p> <p>なお、ゼミ生全員が、地方公務員試験に合格する程度の学力を目標到達学力レベルとしたい。ゼミの進め方は、テキストの輪読形式とする。毎回レポーターが内容を発表し、その後、全員が議論する。教師は講義のように一方的にしゃべることは避け、ゼミ生による議論の交通整理に徹することが理想である。</p> <p>研究演習入門の後、研究演習 I,II と続くが、そこではテーマを絞り、より高度な経済学の研究に入る。各ゼミ生がこの研究演習入門を通じて興味を持ったテーマをより深く研究できるようにゼミを運営する予定である。今年の研究演習 I,II のテーマの一例としては、数量を戦略変数としてゲームを行うクールノー・モデル、価格を戦略変数とするゲームであるベルトラン・モデルなどをツールとして用い、現実の経済問題（たとえば環境問題など）を分析する理論的研究などを行う予定である。来年度の研究演習 I,II でも、同様のテーマを各ゼミ生が選択すると予想できるので、そのために必要となる数学的なツールの習得を、この研究演習入門のなかに、一部、組み入れる行う予定である。</p>	
	受け入れ条件	面接を受けること
担当者のプロフィール	専攻	理論経済学
	現在の研究テーマ	地域経済学、経済発展論、経済成長論、国際経済学
	所属学会	日本経済学会、日本地域学会 Regional Science Association International